

## 平成 30 年度埼玉県職域肝炎ウイルス検査促進事業実施状況

## 1 目的

保険者の協力を得て、事業所とその従業員に対し、肝炎に係る正しい知識を普及啓発し、職場健診における肝炎ウイルス検査の受検を促すことで、県民の肝炎ウイルス検査の受検率を高める。

## 2 委託先

全国健康保険協会埼玉支部

## 3 実施内容

## (1) 健診委託医療機関(121 か所)への協力依頼 【3～4月】

・肝炎ウイルス検査のお知らせ兼申込書(※)の配布 約 27,000 人分

## (2) 受検勧奨啓発資材の作成・送付【3月】

・被保険者への個別通知 35歳及び40歳になる被保険者 約 30,000 人  
 ・事業所への通知 加入事業所 約 80,000 か所

## (3) 事業主等への研修会の実施【平成30年11月15日】

研修名：「知って、肝炎」研修会

参加者：96名(事業主、健康管理担当者、人事担当者、健康保険組合、社会保険労務士等)

《内容》

- 基調講演「知っておきたい肝炎の知識と従業員の健康管理～放っておくと怖い肝炎ウイルスのお話～」  
是永匡紹 氏(国立国際医療研究センター肝炎免疫研究センター肝炎情報センター肝疾患研究室長)
- 特別映像『知って肝炎、プロジェクト』『ショートドラマ&スペシャルムービー』
- 事業説明「ウイルス性肝炎の医療費等の助成制度について」(県疾病対策課担当者)
- 特別講演「仕事と治療の両立支援」山崎玲子氏(社会保険労務士/両立支援促進員)

## (4) 肝炎地域コーディネーター養成促進

・広報誌(健康保険委員だより)への養成講座案内を掲載  
 ・産業保健総合支援センターのメールマガジンの活用等

## (5) 肝炎ウイルス検査陽性者に対する受診勧奨【10月～】

3ヶ月に1度程度、肝炎ウイルス検査陽性者のレセプトを確認し、検査後に受診をしていない者に受診勧奨を実施。

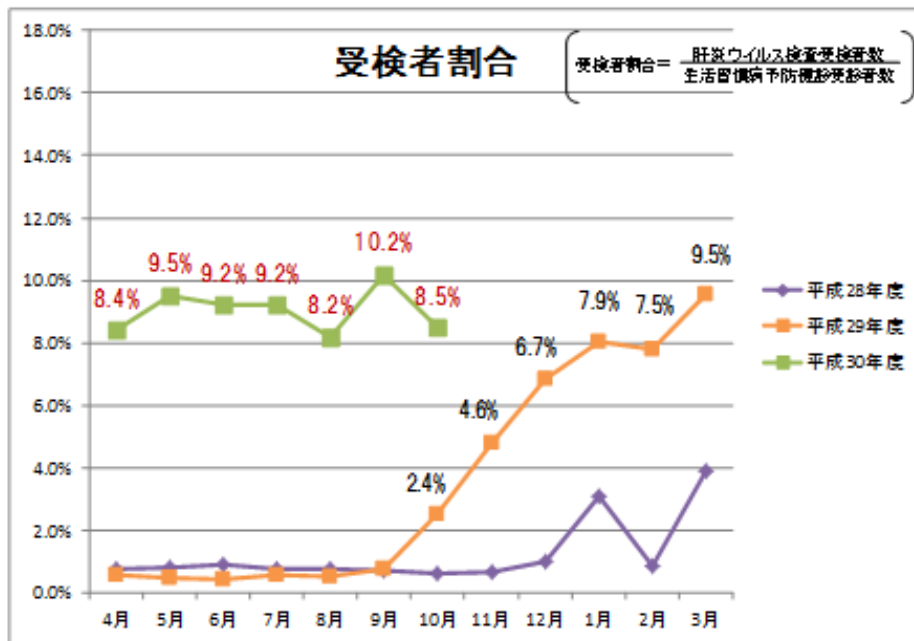
《送付物》

- ①受診勧奨文書 ②受診勧奨チラシ(たたけ肝炎)
- ②埼玉県の治療費助成制度の案内チラシ ③各地区拠点病院の案内チラシ

※ 平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金(肝炎等克服政策研究事業)  
 "効率的な肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップシステムの構築のための研究"にて作成  
 (国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 室長 是永匡紹)

#### 4 実施結果（平成31年2月末把握分）

##### （1）肝炎ウイルス検査受検者の状況



- ※1 受検率は、協会けんぽが35歳以上の被保険者を対象とした生活習慣病健診受診者のうち肝炎ウイルス検査の受検者の割合
- ※2 平成30年度分は暫定値

##### （2）肝炎ウイルス検査陽性者の受診勧奨

受診勧奨 発送日	第1回目 (H29.10月～H30.3月健診受診分)			第2回目 (H30.4月～H30.6月健診受診分)		
	平成30年10月30日			平成31年1月31日		
(内訳)	B型	C型	合計	B型	C型	合計
■肝炎ウイルス陽性者	29人	10人	39人	11人	14人	25人
(うち医療機関受診者)	11人 (受診率37.9%)	6人 (受診率60.0%)	17人 (受診率43.5%)	2人 (受診率18.1%)	3人 (受診率21.4%)	5人 (受診率20%)
(うち資格喪失者)	2人	0人	2人	0人	2人	2人
その他除外者 ※1	-	-	-	0人	5人	5人
■受診勧奨送付数	16人	4人	20人	9人	4人	13人
(うち埼玉支部分) ※2	8人	2人	10人	7人	4人	11人
(うち他都道府県支部分)	8人	2人	10人	2人	0人	2人
■勧奨後受診者	(H31.3月末頃集計予定)			(H31.6月末頃集計予定)		
-	-			-		

※1 治療歴のある肝炎ウイルス陽性者

※2 本事業では加入している支部に関わらず、県内医療機関で受診した協会けんぽの被保険者を対象としている。